



原水爆禁止世界大会実行委員会

〒113-8464 東京都文京区湯島 2-4-4 平和と労働センター6階

電話.03(5842)6035 Fax.03(5842)6033

原水爆禁止世界大会実行委員会は、6月17日運営委員会を開催し、原水爆禁止2020年世界大会（オンライン）のプログラム案と被爆75年「平和の波」行動を確認しましたのでお知らせします。プログラム案は現時点での確定状況です。また、「平和の波」行動については、「全国および海外の友人のみなさんへの行動のお願い」（4ページ参照）を国内外に発表しました。

ご活用の際、よろしくお願いいたします。

2020年6月17日

原水爆禁止世界大会実行委員会

運営委員会

原水爆禁止2020年世界大会（オンライン）プログラム概要

1 国際会議 8月2日（日） 日本時間 10:00—12:30（2時間半）

開会セッション： 主催者報告 野口邦和（運営委員会共同代表）

日本被団協あいさつ（要請予定）

被爆者の訴え サーロー節子さん（要請中）

ゲストスピーカー 高見大司教（要請予定）

メッセージ紹介

第一セッション： 大会テーマの討論パネル1（世界の平和運動代表）

発言者

ジョゼフ・ガーソン（アメリカ 平和・軍縮・共通安全保障キャンペーン 議長）

ケイト・ハドソン（イギリス 核軍縮キャンペーン（CND）事務局長）

ライナー・ブラウン（国際平和ビューロー（IPB）理事長）
日本（原水協）

第二セッション： 大会テーマの討論パネル2（アジア・太平洋）

発言者

日本

イ・ジュンキュ（韓国 韓神大学統一平和政策研究院先任

研究員)

クオン・ドン・フィン (ベトナム平和委員会事務局長)

チェノイ・アヌラダ (CNDP/AEPF) (インド)

中国平和軍縮協会 (要請中)

閉会セッション: 寄せられた質問に答えて

声明の発表

閉会の辞

2、世界大会 - 広島デー 8月6日(木) 日本時間 10:00—12:30 (2時間半)

・主催者報告 富田宏治 (関西学院大学教授/世界大会起草委員長)

・被爆者の証言

・「平和の波」開始宣言

・ゲストスピーカー

広島市長 広島市長 (要請予定)

中満 泉 (国連軍縮問題担当上級代表) (要請中)

トーマス・ハイノッチ欧州統合外務省軍縮軍備管理不拡散局長 (オーストリア)

赤十字国際委員会 (ICRC) (要請中)

・メッセージ紹介

広島デー・セッション1: 核兵器のない世界への共同

発言者

海外

シャラン・バロー (国際労働組合総連合書記長)

スペイン連立与党ポデモスの女性議員 (要請中)

ベアトリス・フィン (ICAN 事務局長) (要請中)

日本

市民連合 (要請予定)、日本原水協

広島デー・セッション2: 日本と世界、草の根の運動の交流

発言者

海外

アメリカ (ピースアクション)

ケイト・ハドソン (イギリス 核軍縮キャンペーン (CND) 事務局長)

日本

(平和行進) (新婦人) ほか

- ・文化プログラム
- ・主催者の声明（広島からのよびかけ）

3、世界大会—長崎デー 8月9日（日） 日本時間 10:00—12:30（2時間半）

- ・主催者報告
- ・被爆者の証言
- ・ゲストスピーカー
 - メルバ・プリーア駐日メキシコ大使（要請中）
 - マレーシア（要請中）
 - 長崎市長（ビデオメッセージを要請予定）

長崎デーセッション1： 核兵器のない世界への共同

発言者

- カルロス・ウマーニャ（核戦争防止国際医師の会共同議長）
- リーチング・クリティカル・ウィル（婦人国際自由連盟（WILPF））
- フィリップ・ジェニングズ（国際平和ビューロー（IPB）共同会長）

長崎デーセッション2： 日本と世界、草の根の運動の交流

発言者

海外

- 韓国（平和と統一を開く人々 = SPARK）
- フランス

日本

（ヒバクシャ国際署名長崎県民連絡会）ほか

- ・文化プログラム
- ・「平和の波」終結宣言
- ・主催者の声明（各国政府への手紙ないし世界へのメッセージ）

4、世界大会—特別集会

* 8月3日～5日、または8月7日～8日の間に開催（2時間を予定）。

* テーマ

- I、被爆体験の継承と普及、被爆者援護
- II、沖縄連帯・外国軍事基地撤去
- III、被爆者・枯葉剤被害者との連帯
- IV、非核・平和の北東アジアと運動の役割



被爆 75 年「平和の波」行動についてのお願い

2020 年 6 月 17 日

原水爆禁止世界大会実行委員会

全国および海外の友人のみなさん、

原水爆禁止世界大会実行委員会は 5 月 8 日総会を開き、被爆 75 年のことし 8 月 6 日から 9 日までの 4 日間、核兵器廃絶を共通の課題とし、「ヒバクシャ国際署名」を共通の行動とする草の根の国際共同行動「平和の波」を行うことをよびかけました。

広島への原爆投下時間 6 日の 8 時 15 分を起点に、長崎の原爆投下時間 9 日の午前 11 時 2 分までの 4 日間、創意に満ちた多彩な行動で世界を覆います。

「平和の波」の運動は、原水爆禁止 1987 年世界大会でソ連とアメリカの平和運動の代表により、当時核兵器全面禁止を求める署名として取り組まれていた「ヒロシマ・ナガサキからのアピール」を共通の行動とし、核兵器廃絶を共通の目標とする国際共同行動として提案されました。それは、10 月 24 日、第 10 回国連軍縮週間の初日、地球の自転に合わせて世界をまわる草の根行動の連鎖とするという形態のユニークさと相まって世界から支持され、当日は、日付変更線の西側から世界 50 カ国と太平洋諸島の人々が参加する壮大な行動となりました。その後、1991 年まで合計 5 回にわたって行われ、この運動は、核兵器の廃絶を世界の反核平和運動の統一要求とし、国際政治のアジェンダとする上で比類ない役割を果たしました。

いま、私たちが提起する「平和の波」は、この流れをさらに新たな段階へと推し進めるものです。人類が対立と紛争、コロナ、気候変動、格差と貧困など危機に直面しているいま、「自国優先主義」による対立や分断、紛争を止め、核兵器をなくし、共同と連帯へと向かうことが強く求められています。「平和の波」は、核兵器廃絶を求める世界の運動が、軍事費削減、人々の命と暮らしと雇用、ジェンダー平等、平和で公正で持続可能な世界など、さまざま課題の運動と共同、連帯して世界を変える壮大な取り組みです。

この行動は、たった一人の行動から何万、何十万の人々の行動まで、また、コロナ禍の中でソーシャルネットワークを生かした行動から、条件に応じたミーティングや行進など、どのような国、どのような状況の中でも創意を生かして準備し、連帯して取り組める行動です。成功のカギはあなた自身の知恵と行動です。

みなさんの計画を、私たち「平和の波」推進委員会まで知らせてください。私たちは、世界のすべての行動を一つに集め、発信し、グローバルな連帯のプラットフォームを提供します。

返送先：「平和の波」推進委員会

原水爆禁止世界大会実行委員会内（事務局：日本原水協）

東京都文京区湯島 2-4-4 平和と労働会館 6 F

antiatom55@hotmail.com TEL 03-5842-6035/Fax03-5842-6033

「平和の波」推進委員会宛

日本原水協のEメールアドレスにお送りください。

antiatom55@hotmail.com

回 答 用 紙

氏名 ()

- 団体名・地域名 ()
- 連絡先 ()
- 行動計画など